

八重瀬町
YAESE TOWN

第2次八重瀬町総合計画

実施計画

令和8年度（令和7年度決算分）

事務事業評価

「サマーレビュー」シート

※画像はイメージです

民生部
健康保険課

【目次】

事務事業名	ページ
国民健康保険特別会計事業(単年度赤字補填分繰出金).....	1
国民健康保険特別会計事業(保健事業分繰出金).....	2
予防接種事業 (A類疾病、B類疾病).....	3
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業.....	4
健康増進事業.....	5
後期高齢者医療保険特別会計事業(事務費等繰出金).....	6
各種検診事業 (がん検診・婦人検診・一般健診・人間ドック).....	7
私的二次救急医療機関支援補助金.....	8

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 健康保険課				班(係)名		資格給付班			
会 計	一般会計	科 目	3	款	1	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	
事務事業名	国民健康保険特別会計事業(単年度赤字補填分繰出金)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	単年度赤字を発生させないように、単年度不足額を補てんするため一般会計から国保特会へ繰出しを行う。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	20,600,000		236,145,000	1146%	47,236,000	20%	-	0%	48,424,000	
	国庫支出金	円										
	県支出金	円			-							
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	20,600,000		236,145,000	1146%	47,236,000	20%	-	0%	48,424,000	
	従事職員	人					7		7	100%	8	114%
従事職員	会任・嘱託職員等	人					16		16	100%	16	100%
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
赤字補填繰出し金予算額	円	20,600,000		236,145,000		47,236,000		0		48,424,000	
		20,600,000		236,145,000		47,236,000		0		48,424,000	
	達成率	100%		100%		100%				100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
国保特会実質収支額	円	0		16,124,432		63,297,358		173,506,240			
		-8,866,384		16,124,432		63,297,358		173,506,240			
	達成率			100%		100%		100%			
成果説明	令和7年度は普通交付金の充当先保険給付費等において予算残が生じたことから黒字決算となり、一般会計から国保特会へ赤字補填分繰出しを実施しなかった。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	2 成果目標をあまり達成できなかった(アウトカム達成率30~69%)		2	2
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 2	B 事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性 2 効率性 3	B 投入コストは適正であるが、成果向上の余地がある。
一次評価(所管課)	国保事業を安定的に実施するため必要な経費である。繰入額に関しては国保特別会計の財政状況を確認しながら実施する。				
二次評価(行草本部)	特別会計が赤字に陥る事態を避け、安定した財政運営を確保するための一般会計からの繰出しは、住民福祉の観点から妥当性があると評価できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 健康保険課				班(係)名		資格給付班			
会 計	一般会計	科 目	3	款	1	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)	
事務事業名	国民健康保険特別会計事業(保健事業分繰出金)									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	保健事業を実施するに当たり、財源を一般会計から国保特会へ繰出しを行い事業を実施する。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	14,344,000		14,042,000	98%	22,081,000	157%	25,665,000	116%	31,876,000	124%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円			-							
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	14,344,000		14,042,000	98%	22,081,000	157%	25,665,000	116%	31,876,000	124%
	従事職員	人	7		7	100%	7	100%	7	100%	8	114%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	16		16	100%	16	100%	16	100%	16	100%
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
保健事業分繰出し予算額	円	14,344,000	14,042,000	22,081,000	25,665,000	31,876,000					
		14,344,000	14,042,000	22,081,000	25,665,000						
	達成率	100%	100%	100%	100%	0%					
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
特定健診受診率	%	56.0	60.0	34.0	34.5	35.0					
		32.2	34.8	37.0	38.0						
	達成率	58%	58%	109%	110%	0%					
成果説明	事業に係る財源を一般会計から国保特会へ繰出しを行うことで、保健事業を実施することができた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

8.【事務事業の総合計画・中期5年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価 (所管課)	国保特別会計で保険事業を実施する上で重要な経費である。国民健康保険被保険者の健康増進を図るため必要不可欠である。								
二次評価 (行草本部)	国民健康保険における保健事業は、被保険者の健康寿命の延伸や医療費の適正化に資するものであり、その財源を一般会計から繰り出すことは妥当性があると評価できます。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 健康保険課					班(係)名		成人保健班	
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	予防接種事業(A類疾病、B類疾病)								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	予防接種A類疾病・B類疾病の定期接種は、市町村長が行うこととされている。 予防接種により国民全体の免疫水準を維持し、住民を感染症から守る。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	119,078,361		121,112,626	102%	138,330,203	114%	128,960,772	93%	151,846,000	118%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円					8,988,900			0%		
	一般財源	円	119,078,361		121,112,626	102%	129,341,303	107%	128,960,772	100%	151,846,000	118%
	正職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	正職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
MR二期対象者受診勧奨を行う。	回	2		2		2		3		4	
		2		2		2		3		4	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
MR二期ワクチン予防接種率	%	95		95		95		95		95	
		91		92		90		88		95	
	達成率	96%		97%		95%		93%		100%	
成果説明	令和7年度予防接種実績 ・ヒブ:34件 360,944円 ・小児用肺炎球菌:1,217件 15,938,916円 ・五種混合:1,212件 25,742,451円 ・三種混合:1件 6,842円 ・不活化ポリオ:1件 11,176円 ・四種混合:98件 1,219,218円 ・BCG:312件 3,845,241円 ・MR:678件 8,062,098円 ・水痘:526件 5,318,775円 ・日本脳炎:1,618件 14,167,208円 ・DT:277件 1,404,667円 ・HPV9価:209件 6,221,028円 ・B型肝炎:899件 6,847,880円 ・ロタリックス:221件 3,499,127円 ・ロタテック:566件 6,130,080円 ・予診のみ(A類):20件 31,350円 ・手数料(A類):370件 55,500円 ・高齢者肺炎球菌:89件 523,363円 ・高齢者帯状疱疹:585件 4,944,004円 ・インフルエンザ:3,952件 17,877,725円 ・コロナ:536件 6,013,785円 ・予診のみ(B類):3件 3,300円 ・手数料(B類):4,776件 716,400円										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3	法令等で町の実施が義務付けされている	3	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3	十分高く、今後も増加が見込まれる	3	
有効性	③成果の達成度	3	成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)	3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3	成果に対する活動量は適正である	3	
効率性	⑤事業費の適正度	3	事業費は適正である	3	3
	⑥従事職員数の適正度	3	従事職員数は適正である	3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性	3	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	対象者へ広報や予診票の再送、就学前健診などで受診勧奨を行っているが、接種率は年々低下している。接種率が上がるよう周知方法等を検討していきたい。								
二次評価(行革本部)	本事業は、地域住民の健康と安全を保障するために不可欠な公衆衛生対策です。感染症の拡大防止や、重症化予防といった観点から、社会的要請も非常に高く、今後も継続して取り組むべき事業です。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 健康保険課					班(係)名		成人保健班	
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	少子高齢化対策として健康寿命の延伸、社会保障費の安定が国の施策の1つとなっており、本町においても、疾病の重症化が進み医療費の増加や重度の要介護者が多いことが課題となっている。重症化予防・フレイル対策に重点的に取り組み、高齢者の健康増進を図ることを目的に本事業を実施する。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		11,205,053		11,278,211	101%	11,712,004	104%	12,145,000	104%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円			10,662,802		9,842,003	92%	10,603,910	108%	10,705,000	101%
	一般財源	円			542,251		1,436,208	265%	1,108,094	77%	1,440,000	130%
	従事職員	人			1		1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人			1		1	100%	1	100%	1	100%
	正規職員時間外勤務	時間			-		-		-			

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
重症化予防保健指導の実員数・ポピュレーションアプローチの参加者数	人数		185	170	170	190
			190	148	189	190
	達成率		103%	87%	111%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
改善(データ改善・医療や介護サービスにつながった)者の数	人数		40	77	34	25
			37	39	15	
	達成率		93%	51%	44%	0%
成果説明	長寿健診受診者のうち、重症化予防対象者(HbA1cコントロール不良者・治療中断者・未治療者、Ⅱ度高血圧未治療者、心電図異常、腎症)と、状態不明者(健診未受診・医療・介護にかかっていない方)に、訪問や電話での保健指導・相談を実施。対象者119名中89名に介入。評価完了者34名中15名がデータ改善・医療や介護サービスにつながった。認知面からくる内服忘れや長年の生活習慣の改善が難しいこと、病院に抵抗があることなどの要因がある。ポピュレーションについては認知症をテーマに100名の方に健康教育を実施。引き続き地域包括支援センター等と情報共有し、連携を図りながら継続して重症化・介護予防の対策を検討していきたい。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	2 成果目標をあまり達成できなかった(アウトカム達成率30~69%)		2	2
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C:【事務事業の総合計画】令和5年度の方向性】・A408(改善)									
事務事業の方向性	妥当性	2	B	事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性	2	B	投入コストは適正であるが、成果向上の余地がある。
	有効性	2				効率性	3		
一次評価(所管課)	専門職が訪問及び電話等で保健指導、健康相談を行うことで各自の健康状態、服薬管理につながり、未治療・治療中断の抑止となっている。継続して実施することは重症化予防や介護予防の対策として有用であると考えます。								
二次評価(行革本部)	本事業は、住民の生活の質向上と持続可能な社会保障制度の維持のため、町が積極的に実施すべき事業であり、その必要性は非常に高いと判断します。社会的要請や町民ニーズも高く、今後も継続して取り組むべき事業です。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 健康保険課					班(係)名		成人保健班	
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	健康増進事業								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	運動習慣を身に付けるきっかけとなる場を提供し、健康意識の向上を図る。 また、歯周病検診を実施し、歯の喪失を予防し、高齢期における健康の維持を図る。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
事業費	直接事業費	円	895,850		433,880	48%	1,120,000	258%	1,350,178	121%	2,196,000	163%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円	595,000		433,880	73%	745,000	172%	896,000	120%	1,429,000	160%
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	300,850		-	0%	375,000		454,178	121%	767,000	169%
	従事職員	人									1	
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
健康運動教室参加人数	人数			200		230		340		340	
				182		238		335		340	
	達成率			91%		104%		99%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
スリム教室肥満改善者・健康意識が身についた方	人数	-		7		21		12		20	
		-		6		12		12			
	達成率			86%		57%		100%		0%	
成果説明	- 頑張らないヨガ:保健センターホールにて講師をお招きし簡単にできるヨガを実施。運動する機会の提供を行った。参加者実員数168名 - スリム教室:保健センターホールにて講師をお招きし、筋トレや有酸素運動、パワーヨガなどを実施。参加者14名中6名体重減少。14名中最終評価ができた12名が運動や食事の健康習慣が継続出来ていると回答。 - 歯周病検診:対象となる方に受診券を発送。広報にて歯周病についてと案内を掲載。受診率1.34% - 健康展を開催し、啓発活動を行った。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C.【事務事業の総合評価（令和5年度の方針）】・A408（改善力）									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進（拡大含む）	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進（拡大含む）
	有効性	3				効率性	3		
一次評価（所管課）	ヨガ教室は毎回定員を超える申し込みがありニーズも高い。健康運動教室は運動習慣を身につけるきっかけだけでなく、血圧測定や健診受診勧奨も実施しており、住民が自身の健康について見直す機会であり、健康意識の向上に繋がっていると考えます。								
二次評価（行革本部）	高齢化社会において、町民の健康寿命の延伸、生活習慣病の予防、健康意識の向上は、持続可能な地域社会の実現に不可欠な行政課題です。本事業は、運動習慣の定着支援や歯周病予防を通じて、住民の生活の質向上に直接貢献するものであり、その必要性は非常に高いと判断します。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 健康保険課					班(係)名		保険税・後期高齢者班	
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	後期高齢者医療保険特別会計事業(事務費等繰出金)								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	後期高齢者医療保険の業務に係る事務費を一般会計から後期特別会計へ繰出しを行う。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	3,656,000		3,545,000	97%	4,090,000	115%	4,082,000	100%	3,058,000	75%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	3,656,000		3,545,000	97%	4,090,000	115%	4,082,000	100%	3,058,000	75%
	従事職員	人	2		2	100%	2	100%	2	100%	2	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
後期特会への繰出し時期		6月		6月		6月		6月		6月	
		4月		4月		6月		4月		6月	
	達成率										
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
繰出し金額		3,656,000		3,545,000		4,090,000		4,082,000		3,058,000	
		3,656,000		3,545,000		4,090,000		4,082,000		3,058,000	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果説明	一般会計から後期特会へ事務費等繰出金を支出し、後期高齢者医療保険事業を実施できた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている		3	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 3 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	後期高齢者医療保険事業のシステム委託及び事務を実施するために必要な経費である。				
二次評価(行草本部)	後期高齢者医療保険制度を運営するために必要な事務費を一般会計から特別会計に繰り出すものであり、町民の高齢期における医療を支える基盤であるため、その必要性和重要性は高く、継続すべき事業であると判断します。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 健康保険課					班(係)名		成人保健班	
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	各種検診事業(がん検診・婦人検診・一般健診・人間ドック)								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	- 胃がん、肺がん、大腸がんの受診券を40歳以上の方へ通知。 - 乳がん、子宮頸がんの受診券を20歳以上の女性へ通知（受診は2年に1回対象）。 - 一般健診受診券を20歳～39歳の方へ通知。 各種検診を実施することで病気の早期発見・早期治療により、死亡リスクの減少を図る。また、現在の健康状態を確認することで自覚症状のない心臓病・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病を未然に防ぐことを目的としている。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト（インプット）	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
				決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比	
	事業費	財源内訳	直接事業費	円	20,547,358		22,432,296	109%	21,863,018	98%	23,591,071	108%	28,910,000	123%
			国庫支出金	円										
			県支出金	円										
			町債	円										
			その他	円										
			一般財源	円	20,547,358		22,432,296	109%	21,863,018	98%	23,591,071	108%	28,910,000	123%
	従事職員	正規職員	人											
		会任・嘱託職員等	人											
正規職員時間外勤務		時間												

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
集団健診実施回数 (婦人検診含む)	回	26		26		26		26		24	
		26		26		26		26		24	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
集団健診受診率	%	40		40		40		40			
		32		35		37					
	達成率	81%		87%		93%		0%			
成果説明	各種がん検診の受診者数、受診料金 ・肺がん検診:2,072人(1,432,550円) ・胃がん検診:778人(4,046,900円) ・大腸がん検診:1,859人(2,927,400円) ・前立腺がん検診:549人(933,300円) 婦人検診の受診者数、受診金額 ・子宮がん検診:980人(3,014,890円) ・乳がん検診:896人(3,253,160円) 人間ドックの受診者数、受診金額 ・人間ドック:359人(2,872,000円)										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3	法令等で町の実施が義務付けされている	3	左記(①+②)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3	十分高く、今後も増加が見込まれる	3	
有効性	③成果の達成度	2	成果目標をあまり達成できなかった(アウトカム達成率30～69%)	2	左記(③+④)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	2	活動量を見直せば成果達成の余地がある	2	
効率性	⑤事業費の適正度	3	事業費は適正である	3	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	⑥従事職員数の適正度	3	従事職員数は適正である	3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 3 有効性 2	B 事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性 2 効率性 3	B 投入コストは適正であるが、成果向上の余地がある。
一次評価(所管課)	各種がん検診の受診者数については、肺がん(2,023人→2,072人)、胃がん(756人→778人)、大腸がん(1,745人→1,859人)、前立腺がん(496人→549人)で、対前年度と比較すると受診者数は増加している。婦人検診については、2年に1回の補助であるため比較はできないが、引き続き受診勧奨を行い受診率向上並びに町民の健康増進を図る。				
二次評価(行革本部)	事業「各種検診事業」は、町民の疾病の早期発見・早期治療を促進し、生活習慣病を未然に防ぐことを目的としており、健康寿命の延伸や医療費抑制に繋がる、町にとって極めて重要な事業です。また、成果説明にあるように、主要ながん検診の受診者数は増加傾向にある点は評価に値します。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 健康保険課					班(係)名		成人保健班	
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	私的二次救急医療機関支援補助金								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	八重瀬町における救急医療体制を確保するため、私的二次救急病院の救急体制の確保に要する費用の一部を補助する。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	12,896,000		11,739,000	91%	12,675,000	108%	13,078,000	103%	13,000,000	99%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	12,896,000		11,739,000	91%	12,675,000	108%	13,078,000	103%	13,000,000	99%
	正規職員	人										
	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
補助金額	円	12,896,000		11,739,000		12,675,000		13,078,000		14,248,000	
		12,896,000		11,739,000		12,675,000		13,078,000		14,248,000	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
救急搬送受入者数	人数	992		903		975		1,006		1,096	
		992		903		975		1,006		1,096	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果説明	町内補助対象医療機関は1医療機関の南部徳洲会病院となっている。補助金申請受付から補助金交付まで適切に行った。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	2
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	2 活動量を見直せば成果達成の余地がある		2	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 2	B 事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性 2 効率性 3	B 投入コストは適正であるが、成果向上の余地がある。
一次評価(所管課)	八重瀬町における救急医療体制を確保するため重要かつ必要な経費である。今後も引き続き実施する必要がある。				
二次評価(行革本部)	町民の生命と健康に関わる救急医療体制の確保は、自治体として極めて高い社会的要請に応えるものであり、妥当性は高いと判断できます。				